



SDGs 時代のお化けやしき

■ハチカグ(株)からの依頼により、栗山圭介さん(作家)プロデュースの「SDGs 時代のお化けやしき」企画に北高校美術部1年 市橋波奈さんがキャラクターデザイナーとして参加しました。

中 日 新聞 2022年(令和4年)4月4日(月曜日) 市 愛 知 10

17種のお化け 人に物申す

持続可能な開発目標(SDGs)をお化け屋敷仕立てで楽しく分かりやすく。国連で採択された17の目標をモチーフにしたイベントが5月8日まで、犬山市の名鉄犬山駅構内のレンタルスペース「いぬやまハチ公園」で開かれている。高校生や大学生がお化けをデザイン、制作した。(松崎晃子)



SDGsをテーマに、プラスチックやビニールのこみを使った展示などが並ぶお化け屋敷=犬山市で

SDGsをテーマに、プラスチックやビニールのこみを使った展示などが並ぶお化け屋敷=犬山市で

SDGsは、二〇三〇年の世界のあるべき姿を示した目標。子どもにも分かりやすく考えるきっかけを作ろうと、作家でクリエイティブデザイナーの栗山圭介さんが監修した。参加者は、人間の持続可能なでない暮らして痛めつけられた地球から生まれた、お化けたちの巣窟に入る設定。自然破壊に怒った木の種が登場する。帰宅後にゆっくり復習してもらえよう、栗山さんがお土産の図鑑を書き下ろした。お化けのデザインは北高

犬山で催し「SDGs 考えよう」高校生ら制作



取材の様子



デザインしたキャラクターは名古屋学芸大学メディア造形学部デザイン学科の皆さんの制作により、お化けやしきの立体キャラクターとなるほか、来場者に配られるお化けずかんやクッキーなどにも使用されます。またこの企画は今後、絵本などにも展開されていく予定です。